

来るべき地震では

本史跡が立地するような低地で、埋め立てられたりした土地は、液状化が起りやすい場所とされています。

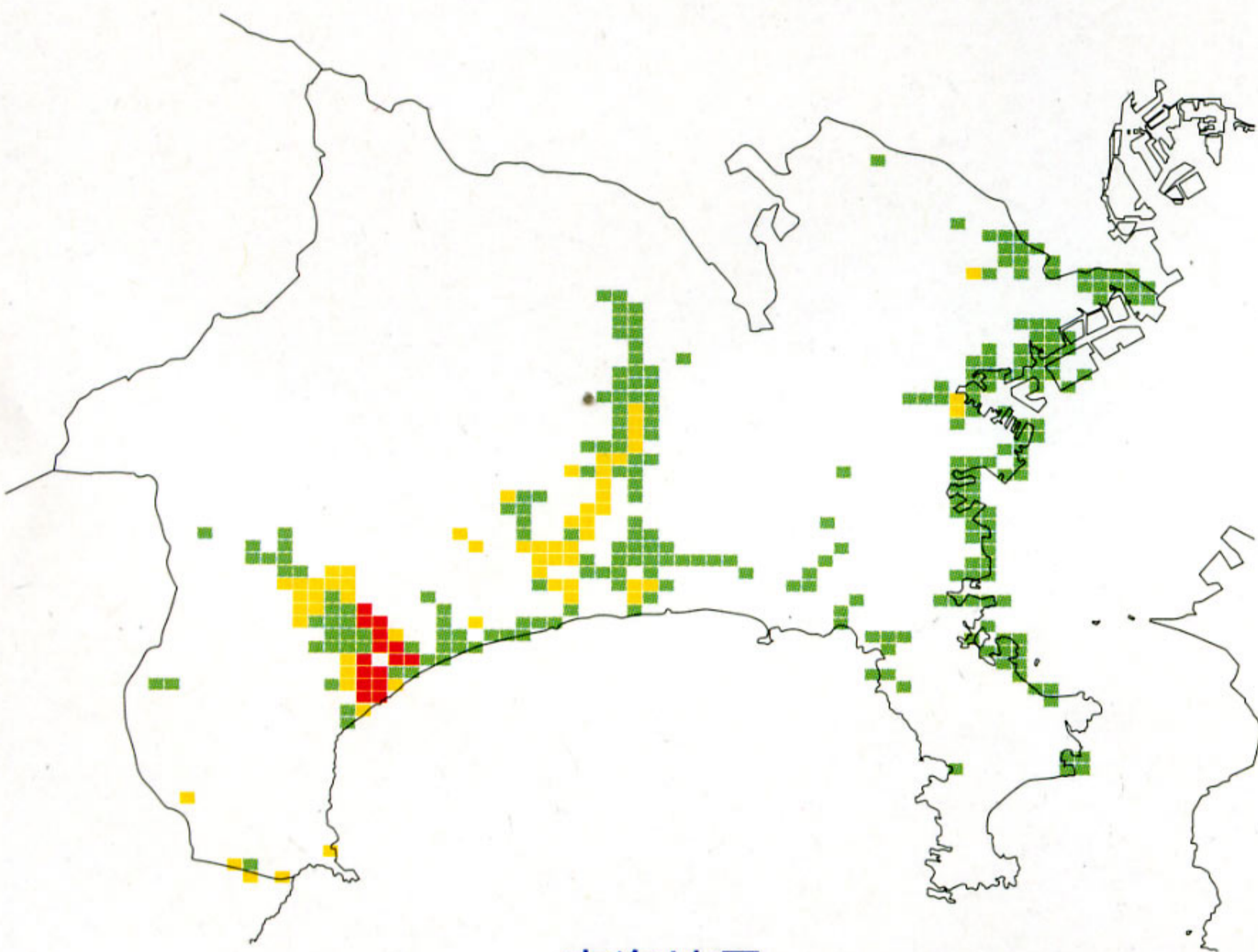
いつ来てもおかしくないと言われている東海地震や南関東地震ですが、液状化現象は想定外の被害をもたらす可能性があることから、被害を最小限にとどめる研究も進められています。

下の図は、神奈川県が作成したものを元にしてあります。これとは別に、茅ヶ崎市役所防災対策課では独自のデータを用いて、被害想定を行い、ホームページ等で公開しています。

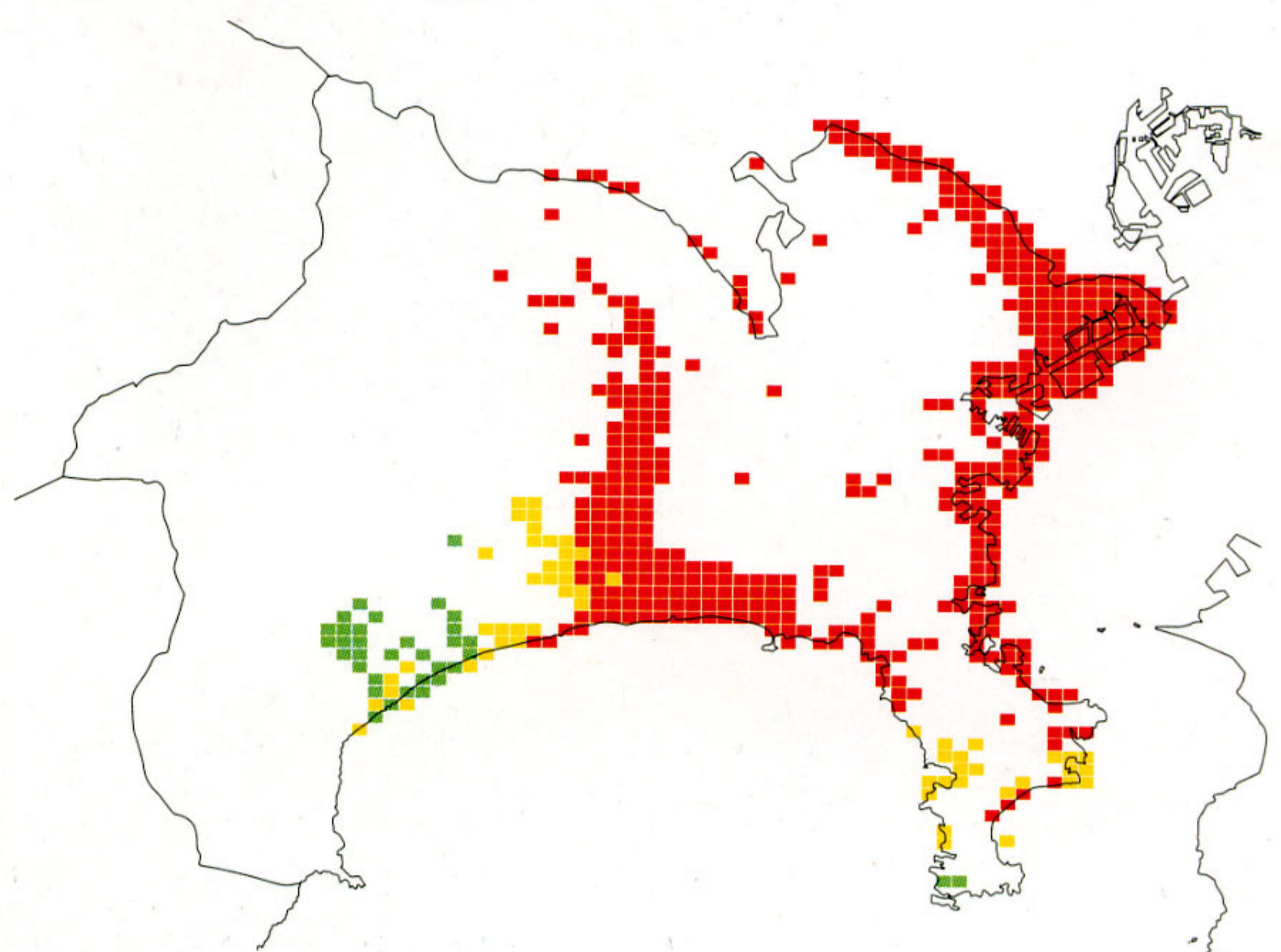
国指定史跡として保存された旧相模川橋脚が、すでに遠い過去になった関東大震災の記憶を語り継ぐものとして、利用されることを願っています。

液状化想定図

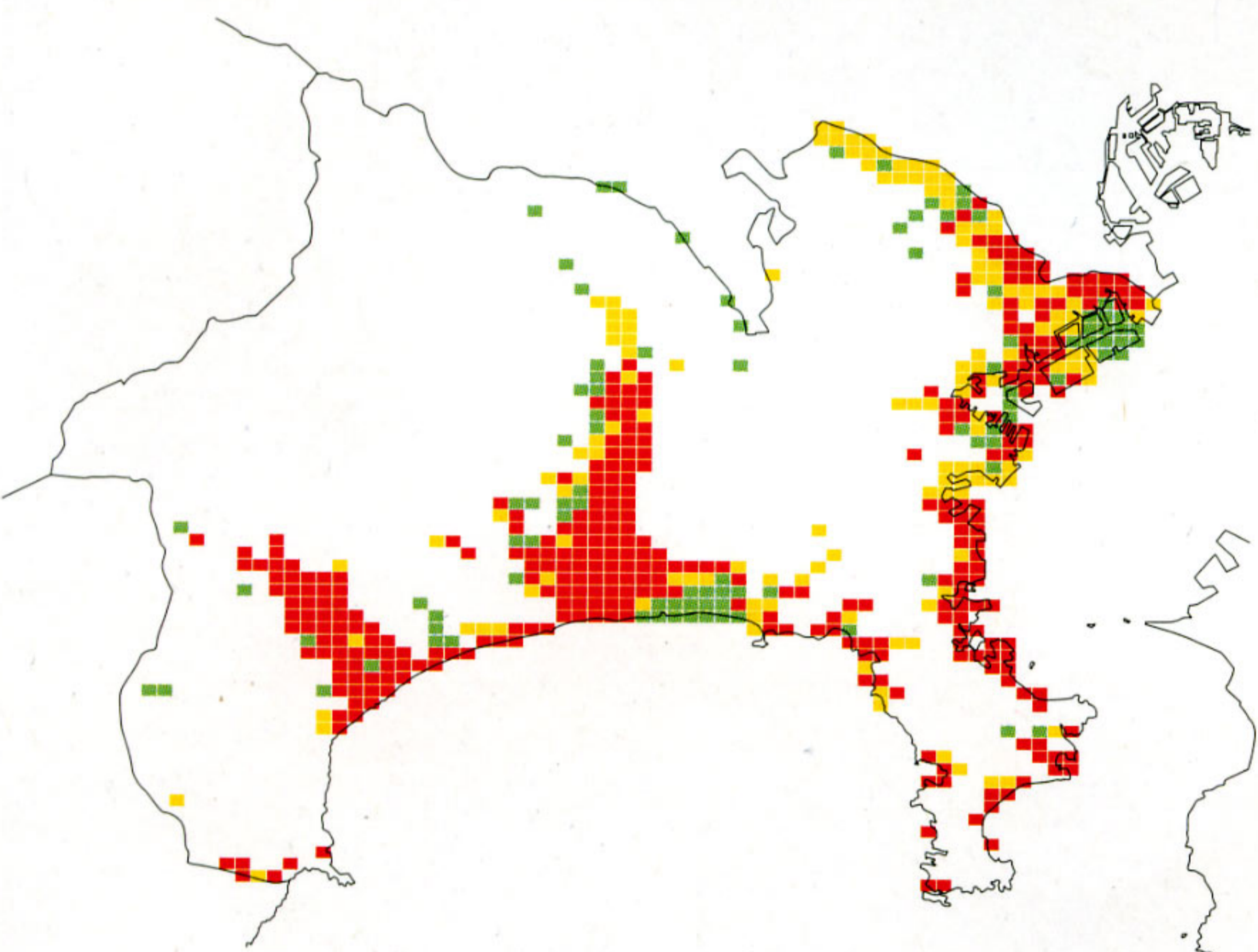
1991(平成3)年作成『神奈川県防災マップ』による



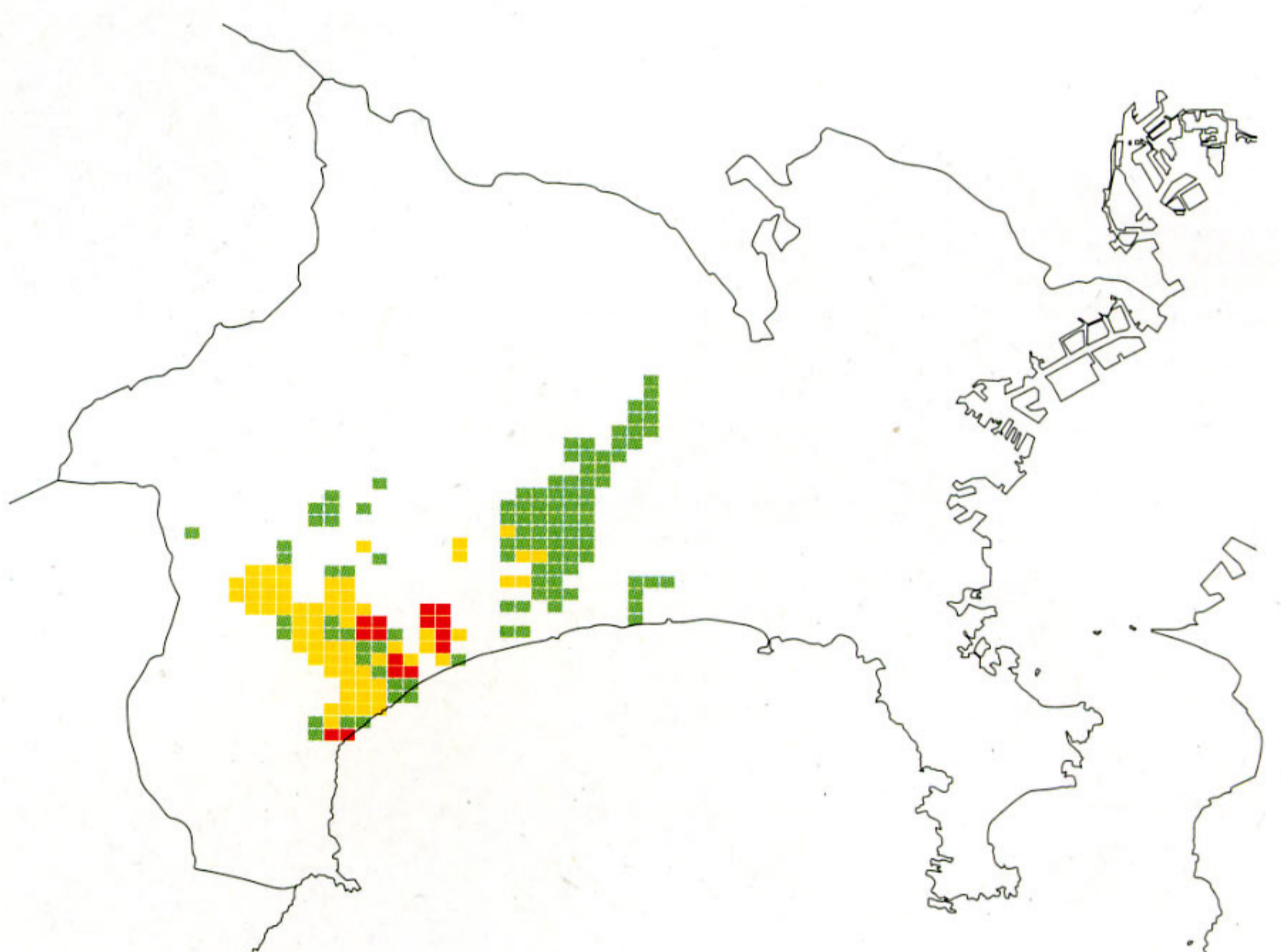
東海地震



神奈川東部地震



南関東地震



神奈川西部地震

発生可能性

(注) 図のメッシュは約1km×約1kmの標準メッシュである。

- 可能性「大」
- 可能性「中」
- 可能性「小」
- 可能性「なし」

〈茅ヶ崎市ホームページ <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp>〉

国指定史跡 旧相模川橋脚

解説シート4 地震編

発行日 平成20年3月28日

編集・発行 茅ヶ崎市教育委員会生涯学習課文化財保護担当

印刷 神奈川印刷株式会社

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 Tel: 0467-82-1111内線3343

平塚市明石町3-6 Tel: 0463-22-3344(代)